

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">長原園</p>	<p>【経営層の役割において】 グループ各園のモデル園としての位置づけにおいて研修の受け入れなどを積極的に行い他園の見本となるように先駆的な取り組みを行うなどの行動ができています</p> <p>【人財育成について、職員意欲向上について】 スタッフには保育士の価値を高めるための「価値創造」を伝え、経営者としての感覚を学ぶ育成スタイルはESの向上につなげている</p> <p>【意思決定について】 流れる保育の導入など最重要案件である保育の方針について現場の意見を大切にするなど人財を重視して育てる環境にある。流れる保育のマニュアル化の率先垂範</p> <p>【規律・規範について】 身だしなみについて職員間で話し合いマニュアルに落とし込みをしている</p> <p>【子ども一人ひとりの尊重について】 理念や流れる保育の考え方に沿ってきれいな日本語を使うことなどの意識を確認しあっている</p> <p>【現場でのOJTについて】 階層別でのコミュニケーションができており振り返りによって問題解決が行われている</p> <p>【子ども同士のトラブルへの対応について】 噛み付きや手がでるなど言葉が出ないことによるおもちゃの取り合いなど成長過程と理解をしたうえで子どもの状況をスタッフ間で共有して未然防止につなげるようにスタッフ間で意識し合っている</p> <p>【自主性・自発性の発揮について】 コーナー保育を実施して子どもが好きな遊びに集中して取り組めるよう空間を確保している</p> <p>【食育・アレルギー対応について】 給食試食会を保護者向けに実施をして実際に保護者に体験してもらうことでアレルギー除去給食について理解を深めることができています</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">改善点</p>	<p>【規律・規範について】 課題として個々の園から全体へ、また全体の共通事項を個々の園に浸透させる仕組みづくりへの取り組みが今後の課題⇒モデル園として更なる情報発信と横軸の強化が必須</p> <p>【地域との交流について】 基本的にできているがモデル園としてはもっと率先して地域向けの情報公開を積極的に進め接点・機会を増やしたい ボランティアの受け入れについてマニュアル化されていないため方針の明確化、受け入れる際の手順など必要</p> <p>【安全性の確保について】 スタッフのリスクに対する意識のバラツキの改善としてKYT(危険予知トレーニング)などの集合研修の提案</p> <p>【子ども同士のトラブルへの対応について】 異年齢保育を行う際にはそれぞれの年齢、時間配分、環境の設定など様々な場面を想定して対応することが課題</p> <p>【行事について】 保護者から子どもたちが発表する場を見たいなどの意見があるが行事について園の考え方を伝えきれていない</p> <p>【保育者との連携について】 保護者の保育参加や保護者同士のコミュニケーションに関して園として今後どのような形で関わってゆくのか検討の余地がある</p>